

## 会員の広場



### 富士山に現れた『鳳凰』を撮る

田川 修司（東京）

平成26年6月に「富岡製糸場と絹産業遺産群」が世界文化遺産に登録されました。世界遺産とは？「世界の文化遺産および自然遺産の保護に関する条約」。通称「世界遺産条約」に基づいて世界遺産リストに登録された遺跡・景観・自然など、人類が共有すべき

「顕著な普遍的価値」を持つ物件のことです。現在190ヶ国で世界遺産の総数は981件（文化遺産759、自然遺産198、複合遺産29）。日本国内の世界文化遺産は14、自然遺産は4です。

平成25年6月26日、富士山が「富士山―信仰の対象と芸術の源泉」として世界文化遺産に登録されました。富士山は日本一の高さ（3,776m）は言うまでもなく、左右に裾野を広げる優美雄大な姿はどこから見ても美しいものです。

四季折々に美しく変化し、様々な表情があり、優雅で気品に満ちている霊峰として古来より特別な存在です。二つとない不二の山（不尺山）、天地開闢以来、天空高くそそり立

つ、霊性を備えた崇高な山で、その存在感は日本一の山です。現在、千円札に、本栖湖からの逆さ富士が描かれています。

平成25年10月、私は世界文化遺産になった富士山を祝福するように現れた『鳳凰』を撮影しました。長い尾をはためかせ頂上に向かって大きく羽ばたいている姿の素晴らしい雪形です。

鳳凰は、縁起のよい鳥・霊鳥であることから、多くの美術品や建築物にその意匠が使われています。平等院鳳凰堂や金閣寺の屋根にあるものが有名ですが、身近では十円硬貨や一万円札裏面にも描かれています。幸せを呼ぶ鳳凰のありがたい写真を篤とご覧くださ

